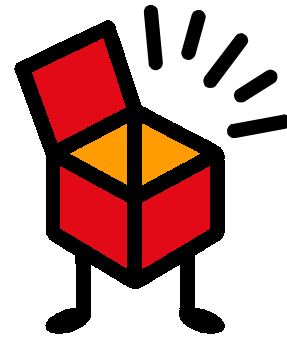


2004年度第3四半期決算説明



Materials Mag!c

2005年1月31日

 日立金属株式会社
Hitachi Metals, Ltd.

<http://www.hitachi-metals.co.jp>
E-Mail : hmir@hitachi-metals.co.jp

各セグメントの事業構成

高級金属製品

特殊鋼カンパニー

ロールカンパニー

日立ツール

電子・情報部品

情報部品カンパニー

NEOMAX (硬質磁性材料)

FM/MT事業推進部 (軟質磁性材料)
OEデバイス部 (IT関連新製品)

高級機能部品

自動車機器カンパニー

配管機器カンパニー

日立機材グループ

サービス他

環境システム部

販売・サービス会社

その他製造会社

1

売上は前年同期比36%増、1,108億円増加

高級金属製品 22%増、 電子・情報部品 199%増
高級機能部品 8%増、 サ-ビス他 11%増

- ・エレクトロニクス関連および自動車関連分野が好調に推移
- ・高級金属製品および電子・情報部品が大幅増加
- ・海外向け売上高比率上昇(前年同期比4.8%上昇)、
特にアジア向け売上高比率が前年同期比6.1%上昇

2

営業利益は前年同期比3倍、199億円増加

高級金属製品 +73億円、 電子・情報部品 +94億円
高級機能部品 +17億円、 サ-ビス他・消去 +15億円

- ・操業の好調が持続
- ・原材料価格高騰あるも、全部門で増益

中間決算発表時見込数値を上方修正

売上高

- ・中間決算発表時見込 5,400億円 今回修正 5,500億円 (+2%、100億円増)
- ・03年度対比では、+31%、1,299億円増加
(高級金属製品 18%増、電子・情報部品 188%増、高級機能部品 5%増)

営業利益

- ・中間決算発表時見込 340億円 今回修正 370億円 (+9%、30億円増)
- ・03年度対比では184億円増加
(高級金属 + 80億円、電子・情報 + 106億円、高級機能 + 6億円)
- ・原材料価格高騰による影響は継続

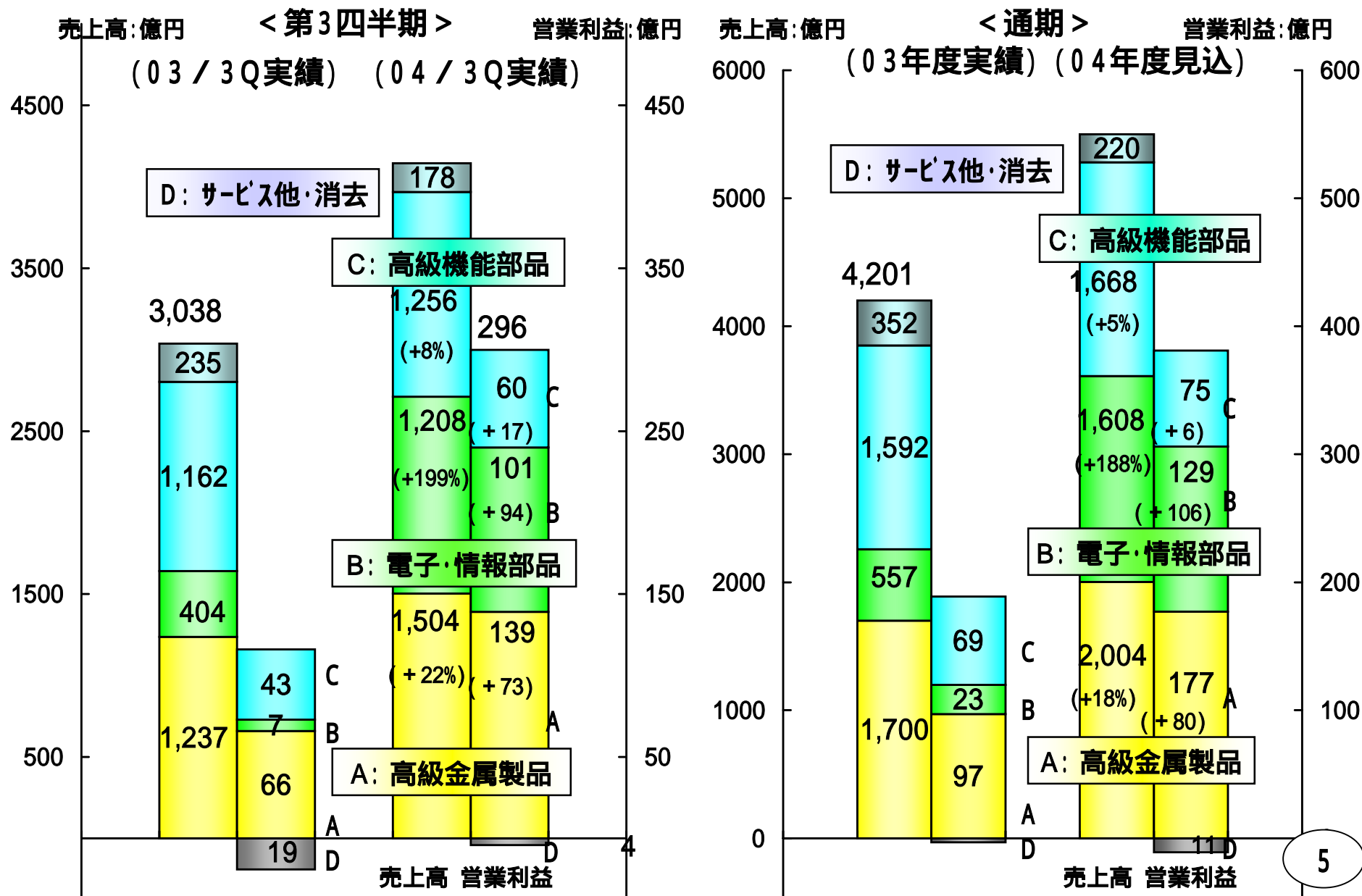
2004年度連結業績要約



(単位:億円、()内は前年同期比)

	03年度			04年度		
	中間期	3Q実績	通期	中間期 実績	3Q実績	通 期 見込
売上高	1,978	3,038	4,201	2,732 (138%)	4,146 (136%)	5,500 (131%)
営業利益	55	97	186	193 (+138)	296 (+199)	370 (+184)
経常利益	38	74	152	173 (+135)	266 (+192)	335 (+183)
税前利益	27	58	97	169 (+142)	266 (+208)	270 (+173)
当期利益	1	18	34	82 (+81)	131 (+113)	125 (+91)
ROE (%)	0.1%	1.6%	2.2%	10.6%	11.2%	8.0%
設備投資額	98	128	176	115 (+17)	172 (+44)	250 (+74)
減価償却費	96	144	191	110 (+14)	172 (+28)	240 (+49)
研究開発費	47	68	92	49 (+2)	73 (+5)	103 (+11)

セグメント別連結売上高・営業利益



高級金属製品

売上高: 1,504億円(前年同期比22%増、267億円増加)

営業利益: 139億円(前年同期比73億円増加)

- ・高級特殊鋼・切削工具はアジア・北米を中心とした自動車業界の好況により売上増加
- ・エレクトロニクス材料はデジタル家電・AV機器向けの需要が好調に推移

電子・情報部品

売上高: 1,208億円(前年同期比199%増、804億円増加)

営業利益: 101億円(前年同期比94億円増加)

- ・マグネットは自動車・工作機械・電子機器の好調を受け、大幅に売上増加
- ・情報部品は液晶ディスプレイや携帯電話市場の好調と新規採用増により売上増加
- ・ファインメット®もデジタル家電向けの需要増により売上増加

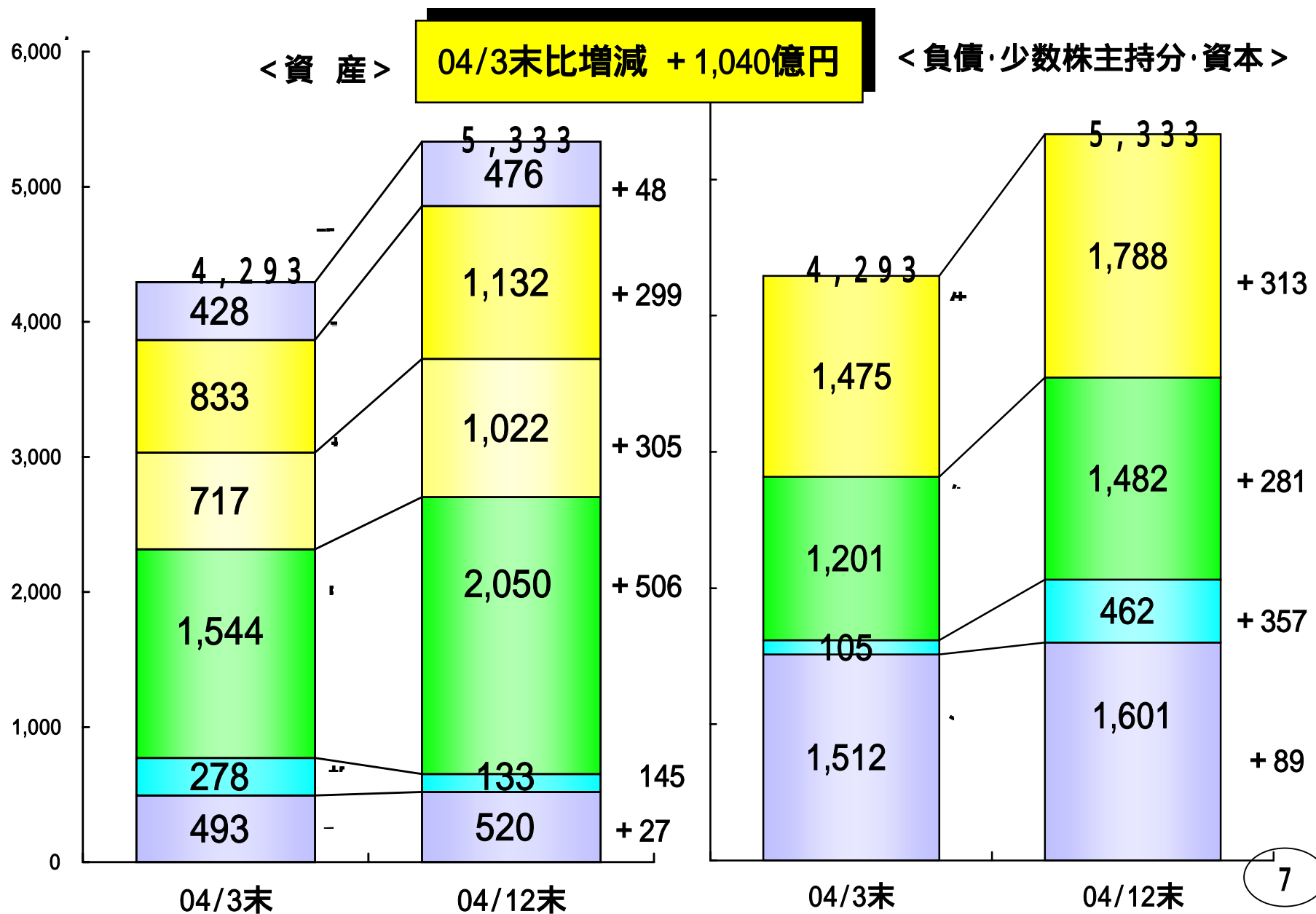
高級機能部品

売上高: 1,256億円(前年同期比8%増、94億円増加)

営業利益: 60億円(前年同期比17億円増加)

- ・耐熱鋳鋼製品が減少するも、排ガス規制強化に伴うトラック向け需要が好調に推移
- ・配管機器は配管の材質変化の影響を受け、前年同四半期並みで推移

連結B / S残高



(億円)

科 目	03年度 第3四半期	04年度 第3四半期	03年度
税金等調整前当期利益	58	266	97
減価償却費	144	172	191
設備投資	135	162	180
その他	167	225	84
フリーキャッシュ・フロー	100	51	24
借入金・社債の増減	118	55	125
配当金支払	19	34	19
その他	10	20	25
増加額または減少額合計	247	58	145

本資料に掲載されている情報のうち業績予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。

本資料に掲載されている情報は、当該情報に別段の表示がない限り、本資料に記載の日付に作成されたものであり、時間の経過により、不正確または不完全となる可能性があります。
当社は、当該情報の作成日以降に発生した事象を反映するために、本資料に掲載されている情報を逐次更新する義務を負いません。